
一般学生への「エネルギー問題」に関するアンケート結果

2014年4月23日

一般社団法人 日本原子力産業協会

■ 調査概要

- ・ 調査期間:2014年2月10日(月)～2月24日(月)
- ・ 調査方法:インターネットによるアンケート
- ・ 対象者:大学生、大学院生 1,312名【男性474名、女性838名】、【文系813名、理系499名】

■ 考察

- ・ 大学生、大学院生は、エネルギー問題へ関心が高いものの、電源構成やエネルギー自給率について正しく理解されていない結果であった。また、エネルギー問題に対し自分の意見をもつ学生も低いことが分かった。
- ・ 原子力に関しては、今から30年後には、使わないと回答した層が5割を超えた。一方、今から30年後も原子力エネルギー技術の研究自体は維持すべきと回答した層が5割を超えた。

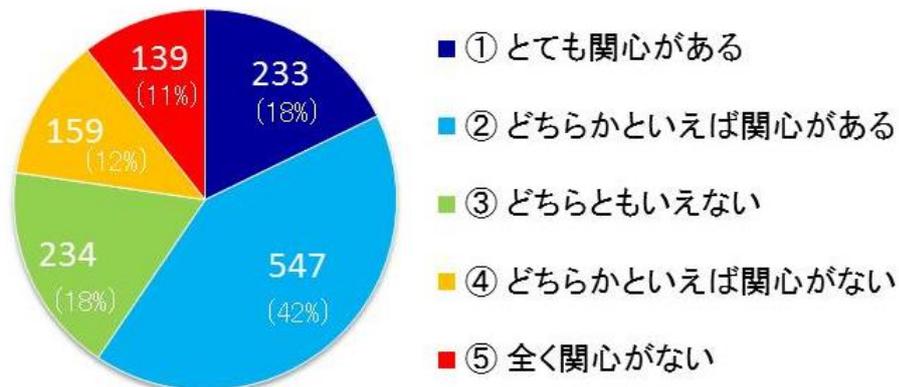
■ アンケート結果のまとめ

- ・ エネルギー問題へ関心の高い層は約6割、また関心のない学生は約2割となった。そのうち、男性は、エネルギー問題へ関心の高い層が約7割、関心の低い層が約2割となった。一方、女性は、エネルギー問題へ関心の高い層が5割を超えたものの、関心の低い層が約3割近くとなった。男性に比べて女性の方がエネルギー問題への関心が低いという結果となった。
- ・ エネルギー問題を将来の重要なテーマだと考えている学生は8割を超えたのに対し、自分の意見を持っている学生は4割以下であった。
- ・ エネルギー源や発電方法を選ぶ際には、「コスト」よりも、「安全性の確保」「エネルギー安全保障」を重視していることが分かった。
- ・ 30年後のエネルギーについて、石油、石炭、原子力は、使わない層がそれぞれ約3割、約4割、約5割となった。一方、天然ガス(LNG)、水力は積極的に使う層が約4割であった。また、水力以外の再生可能エネルギーについては、約7割が積極的に使う層であった。
- ・ 日本の電力に占める原子力発電のエネルギー比率は、30年後を待たずに早急にゼロにすべきかについては、賛否意見が分かれたが、今から30年後も原子力エネルギー技術の研究自体は維持すべきと考えた学生は5割を超えた。

【各設問の回答結果】(パーセント表示は、四捨五入)

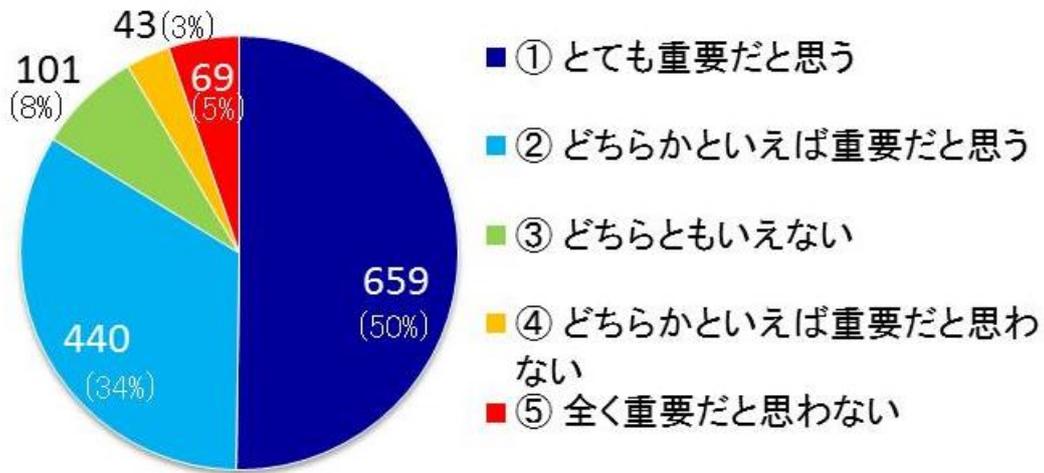
■ Q.エネルギー問題にどの程度関心がありますか？

- ・ 考察:エネルギー問題へ関心の高い層は約6割であった。



■ Q.日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？

． 考察：8割を超える学生がエネルギー問題を重要テーマと考えている。



■ Q.エネルギーの選択に関して、自分の意見や考え方を持っているとタイプだと思いますか？

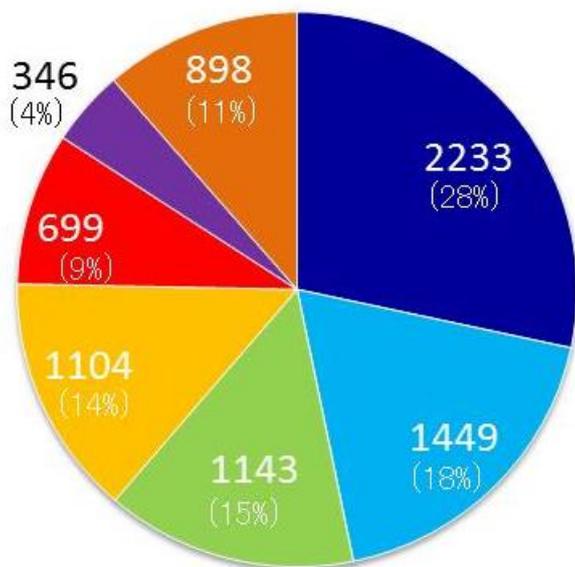
． 考察：自分の意見や考え方を持っていると答えた学生は約4割下であった。



■ Q.エネルギー源や発電方法を選ぶ際に、あなたが重視するのはどれですか？1位から3位まで順位をつけ、その番号をご記入ください。

・ 考察:「安全性の確保」「エネルギー安全保障」「地球温暖化防止」「コスト」の順で、重視していることが分かった。

※円グラフのスコアは、人数ではなく、人数×得点(1位3点、2位2点、3位1点で算出)



- ① 安全性の確保
- ② エネルギー安全保障(安定供給)
- ③ 地球温暖化防止
- ④ コスト(経済性)
- ⑤ エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求(最先端技術の追求)
- ⑥ 原子力などのエネルギー技術による世界貢献
- ⑦ 世代間の公平(未来世代への責任)

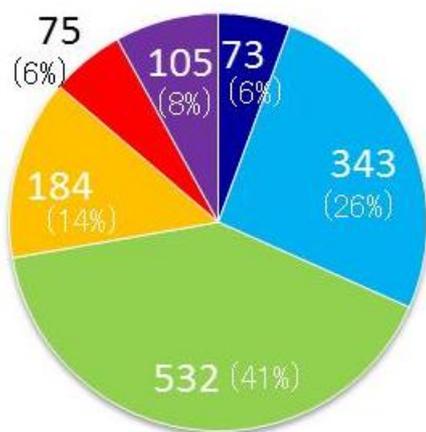
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
得点(人数)	安全性の確保	エネルギー安全保障(安定供給)	地球温暖化防止	コスト(経済性)	エネルギーイノベーション・グリーンエコノミーの追求(最先端技術の追求)	原子力などのエネルギー技術による世界貢献	世代間の公平(未来世代への責任)
1位	1419(473)	753(251)	588(196)	444(148)	321(107)	102(34)	309(103)
2位	650(325)	490(245)	354(177)	384(192)	224(112)	152(76)	370(185)
3位	164	206	201	276	154	92	219
合計	2233(962)	1449(702)	1143(574)	1104(616)	699(373)	346(202)	898(507)

※得点の算出は、人数×得点(1位3点、2位2点、3位1点で算出)

- Q.今から30年後、以下に挙げるエネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

＜石油＞

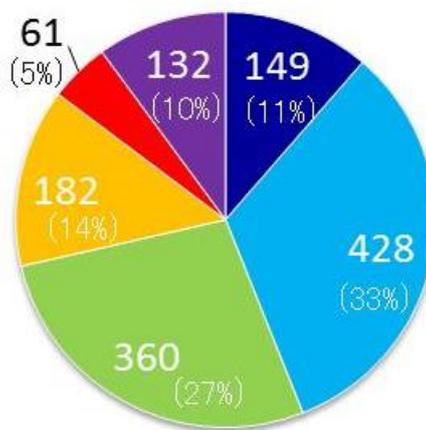
考察：使わない層が約3割であった。



- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

＜石炭＞

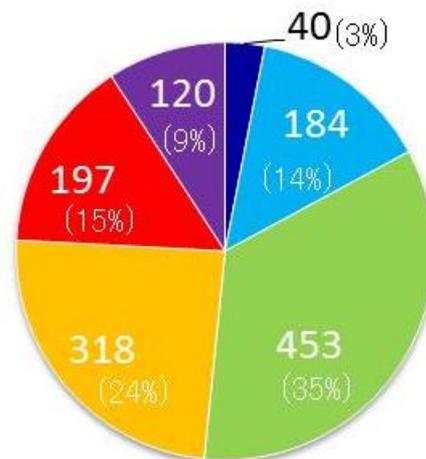
考察：使わない層が約4割であった。



- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

＜天然ガス(LNG)＞

考察：積極的に使う層が約4割であった。

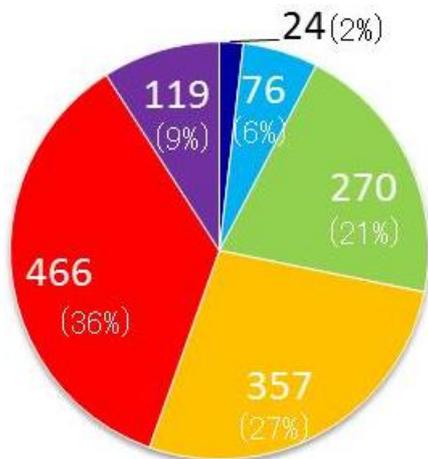


- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

■ Q.今から30年後、以下に挙げるエネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

＜水力＞

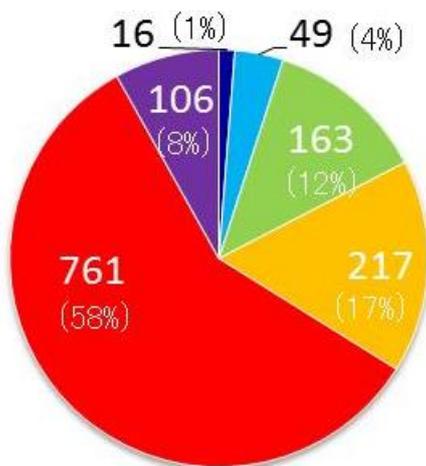
考察：積極的に使う層が4割を超えた。



- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

＜太陽光＞

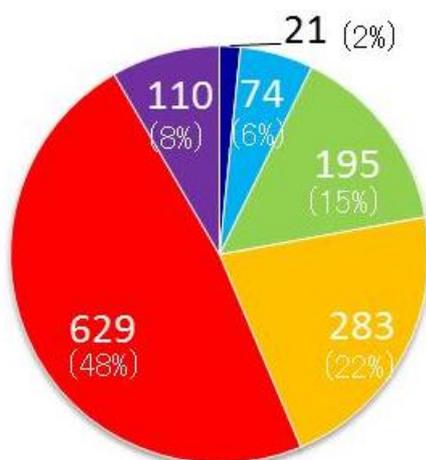
考察：積極的に使う層が7割を超えた。



- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

＜風力＞

考察：積極的に使う層が約7割であった。

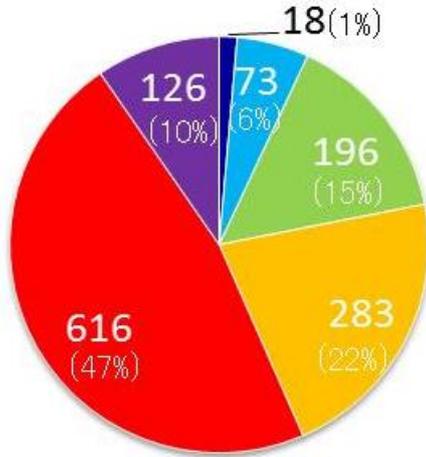


- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

- Q.今から30年後、以下に挙げるエネルギーを日本はどのくらいにすることが望ましいと思いますか？

＜その他の再生可能エネルギー（バイオマス・地熱など）＞

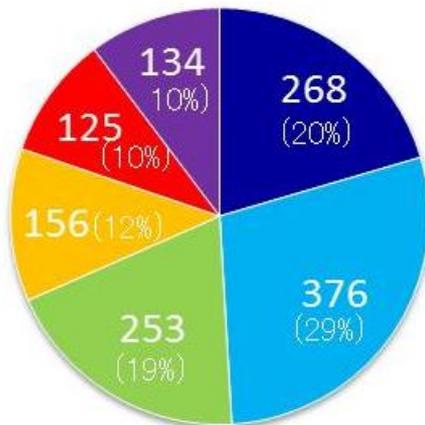
考察：積極的に使う層が7割を超えた。



- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

＜原子力＞

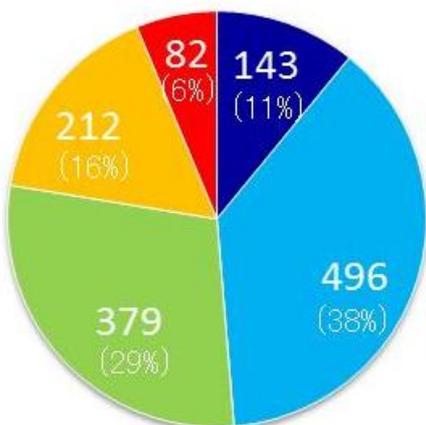
考察：使わない層が約5割であった。



- ① 全く使わない
- ② どちらかといえば使わない
- ③ 中程度に使う
- ④ どちらかといえば使う
- ⑤ 最大限使う
- ⑥ わからない

- Q.「今から30年後、日本のエネルギー源としては再生可能エネルギーを電力の主力にできる」と思いますか？

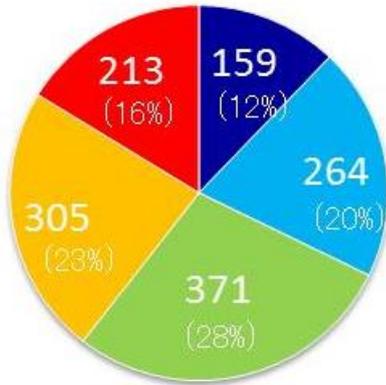
考察：同意見に賛成する層が約5割であった。



- ① とてもそう思う(同意見に賛成)
- ② どちらかといえばそう思う(どちらかといえば同意見に賛成)
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかといえばそう思わない(どちらかといえば同意見に賛成ではない)
- ⑤ 全くそう思わない(同意見に全く賛成でない)

- Q.「日本の電力に占める原子力発電のエネルギー比率は、30年後を待たずに早急にゼロにすべきである」と思いますか？

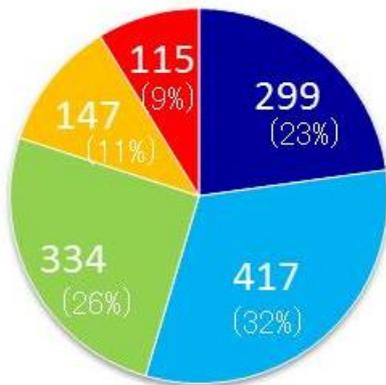
・ 考察: 同意見に賛成する層が約3割で、賛成しない層が約4割となり、意見が分かれた。



- ① とてもそう思う(同意見に賛成)
- ② どちらかといえばそう思う(どちらかといえば同意見に賛成)
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかといえばそう思わない(どちらかといえば同意見に賛成ではない)
- ⑤ 全くそう思わない(同意見に全く賛成でない)

- Q.あなたは、原子力発電の是非とは別に、今から30年後も原子力エネルギー技術の研究自体は維持すべきだと思いますか？

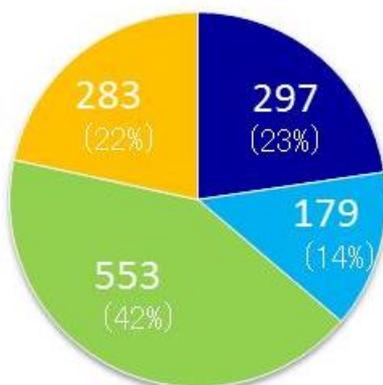
・ 考察: 同意見に賛成する層が5割を超えた。



- ① とてもそう思う(同意見に賛成)
- ② どちらかといえばそう思う(どちらかといえば同意見に賛成)
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかといえばそう思わない(どちらかといえば同意見に賛成ではない)
- ⑤ 全くそう思わない(同意見に全く賛成でない)

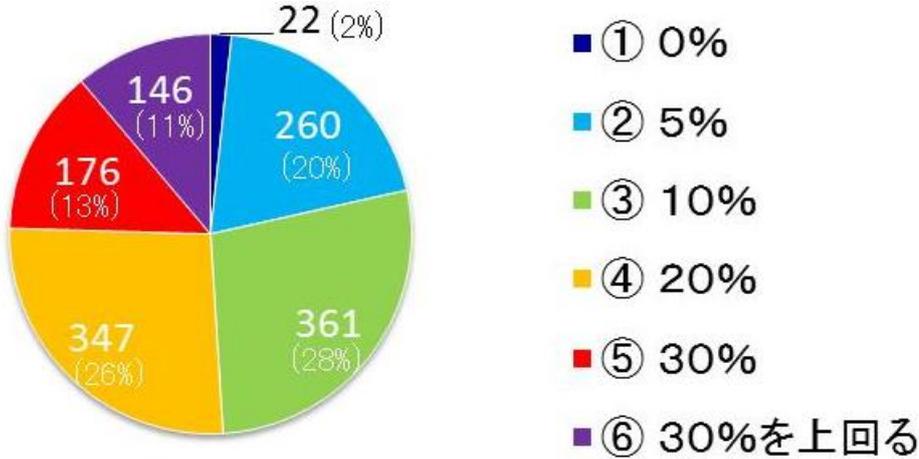
- Q.東日本大震災前(2010年度より前)、日本の電源構成の比率は、どの程度でしょうか？

・ 考察: 正しく理解している学生は5割以下であった。(正答:③)

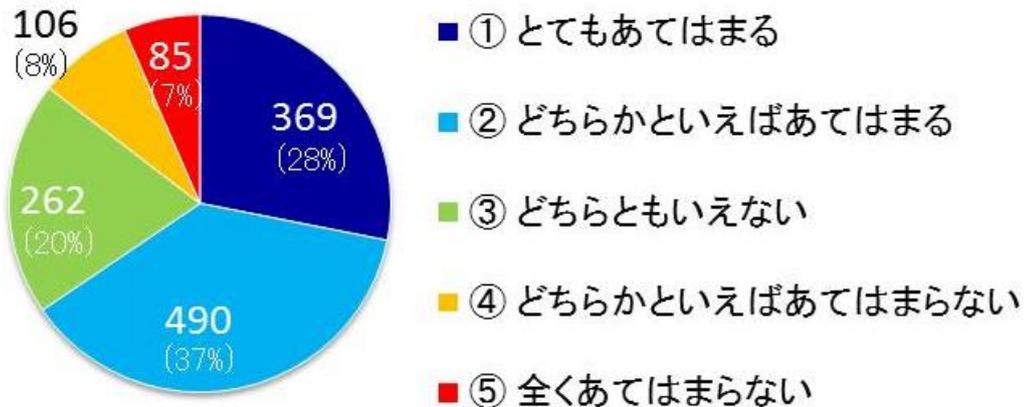


- ① 火力:80%、水力:4%、原子力:10%、地熱および新エネルギー他:6%
- ② 火力:70%、水力:9%、原子力:5%、地熱および新エネルギー他:16%
- ③ 火力:60%、水力:9%、原子力:30%、地熱および新エネルギー他:1%
- ④ 火力:30%、水力:9%、原子力:50%、地熱および新エネルギー他:11%

- Q.電気、ガス、石油などの全ての種類のエネルギーを含めたエネルギー全体で考えた時、日本のエネルギー自給率の現状は、およそ何%でしょうか？但し、この場合のエネルギー自給率は、水力、地熱、風力、太陽光などの再生可能エネルギーで考えてください。（正答：②）
 - ・ 考察：正しく理解している学生は約2割であった。



- Q.意見を選択する時には、多様な立場の人の様々な意見や、自分とは異なる考えを持つ人の話を聞いたり話をしたりしてから選びたいと思いますか？
 - ・ 考察：多様な意見を聞くと答えた層が6割を超えた。



- Q.将来の方向性を決める際に、以下に挙げるどちらの決め方が望ましいと思いますか？
 - A.目標設定型
(目標となる社会の姿を想定し、その姿から現在を振り返って今何をすればいいかを考えるやり方)
 - B.実績積み上げ型
(過去のデータや実績に基づいて、物事を積み上げて将来を予測するやり方)
 - ・ 考察：「目標設定型」が約6割、「実績積み上げ型」が約3割であった。

